

やまと 広報

2012(H24)
3
No.85

弥生
3月21日発行

菅尾
小旧校舎



大野
小旧校舎



馬見原
小旧校舎



閉校

【大好きな学校、ありがとう、さようなら】

2月25日から3月3日にかけて、大野・菅尾・馬見原の3小学校と蘇陽高校で閉校記念式典が行われました。「母校がなくなる…」「地域の学校がなくなり、子どもたちの声が遠くなる…」各地域の方には、非常にさみしい、別れの儀式でした。

しかし、各校の特色ある伝統が終わるわけではありません。新しい学校は、その伝統という土台の上に、新しい伝統を積み上げていきます。

Contents 主な内容

2～10P……………閉校記念式典
22～23P……………まちの話題
24P……………出初め式

25P……………すくすく育て
26～27P……………蘇陽高校閉校式・卒業式
28P……………駅伝・写真コンクール



大野小学校



【山都町立大野小学校】

生徒数 16 人

所在地 山都町大野 668

創 立 明治 7 (1874) 年



1



2



4



3

2月25日、大野小学校閉校式が行われ、児童16人、保護者、教職員、町関係者、地域住民の方々など、300人が出席しました。とりわけ地域の方々が多く参加しました。

式では、学校長式辞、教育委員会告辞、甲斐町長からのあいさつがあり、出席者全員で国歌斉唱のあと、児童代表が校旗をたたみ、山下教育長に手渡しました。そして出席者全員で校歌を歌いました。

その後、会場を校庭に移し、記念碑の除幕式が行われました。この除幕式では、保護者で結成された鼓笛隊が校歌を演奏し、除幕式に花を添えました。

昼食後は、思い出の写真館と題したスライドショーがあり、卒業写真や歴代校長の写真、当時の運動会の懐かしい写真と、現在の授業の風景などがスクリーンに映し出されました。

午後の大野小をしのぶ会では、佐藤初男記念式典実行委員長が「たくさんの方々にお集まりいただき感謝します。」

大野小学校の沿革

明治	7	文字ヶ崎に柳井小学校として開校
	20	柳井小学校廃校 大野、柳井原、土戸は馬見原小学校へ 白石、方ヶ野、神ノ前は白石谷校舎へ
	23	大野校校舎新築。馬見原小大野支校と改称
	25	独立し、大野尋常小学校と改称
	44	校舎改築
大正	14	大野原に運動場設置
昭和	3	造林地を定め植林
	16	阿蘇郡大野国民学校と改称
	22	阿蘇郡馬見原町立大野小学校と改称
	30	正門の石門建設
	31	町村合併により蘇陽町立大野小学校と改称
	33	現校舎建設・完全給食実施
	36	鼓笛隊編成
	39	大雪（積雪80cm）で臨時休校
	48	体育館完成・4学級編成
	50	教員住宅新築・神ノ前プール開設 創立100周年記念式典・記念碑建立
和	57	九州へき地研で公開授業・研究発表
	62	3学級編成・給食室改築
平成	5	PTA奉仕作業でベンチ設置
	7	タイの小学校と交流
	11	全国青少年善行表彰
	12	完全複式学級となる
	15	環境教育優良校として環境大臣賞受賞
	16	阿蘇郡南部音楽祭にミュージカル出演
	17	町村合併により山都町立大野小学校と改称
	19	5学級編成（特別支援学級開設）
成	20	完全複式4学級編成・熊日緑のリボン賞
	24	閉校・蘇陽南小学校開校



5



7



6

- ① 当日は地域の方々をはじめ、たくさんの方が出席。閉校記念碑の前で記念撮影
- ② しのぶ会で披露されたミュージカル「まなびやの詩」。学校の歴史を紐解きながら進むストーリーと児童の熱の入った演技が出席者の心を打ちました。
- ③ 会場にやさしく響いた DOYO 組の歌声。
- ④ 学校の歴史と校歌が刻まれた閉校記念碑
- ⑤ 記念碑除幕式では地域の方々と中学生で編成された鼓笛隊が、校歌を演奏。
- ⑥ 思い出を語る山邊健二先生
- ⑦ 最後の在校生もしのぶ会を楽しみました。

大野小学校は137年の歴史の中で、1558人の卒業生を送り出しました。

最後は、DOYO組によるコンサート。児童はもちろん、教職員や実行委員会のみなさんもステージに上がり、童謡と一緒に歌い、長年みんなを見守り続けた校舎に感謝の歌声を贈りました。

続いて行われたのは、児童全員によるミュージカル「まなびやの詩」。大野小学校の歴史を題材にし、この日のために制作されたこの劇。夏から学校について調べていくうちに学校への思いが強くなり、約40分の大作に。劇中の校歌を歌うシーンでは、大野小への思いをさせて、ハンカチで目頭を押さえる人もいました。

この統廃合の選択が子どもたちの未来に確かなる答えとして導かれることを願います。」とあいさつ。続いて、昭和46年度から昭和51年度までの6年間、大野小で教鞭を振った山邊健二先生がステージへ。「赴任中は、地元の青年野球クラブに入って一緒に汗を流し、学校でも先輩教師から多くのことを学びました。閉校は残念な気持ちですが、これからが大野魂が発揮される時です。」といまなお胸に残る当時の熱い気持ちを話しました。また、歴代PTAの代表として、佐藤孝義さんが、大野小で学んだ思い出を語りました。



菅尾小学校



2月26日、菅尾小学校閉校記念式典が行われました。式には、児童27人、保護者、教職員、町関係者、地域住民の方々など約300人が出席しました。

はじめに閉校記念式典が体育館で行われました。国歌斉唱の後、学校長式辞、教育委員会告辞、町長、来賓のあいさつがあり、その後、児童代表により、校旗が教育長へ返納されました。

続いて、校庭入り口に建立された閉校記念碑の除幕式が行われました。式では、立田道雄記念式典実行委員長からの建立に関する経過説明の後、児童や関係者の手により除幕されました。この碑の建立には、米山出身の加藤須磨子さん（旧姓興柁）が、菅尾小学校へ贈った寄付を元に設立された「須磨子基金」の一部が使われており、碑には加藤さんの名前も刻まれました。この基金は、小学校のスキー教室などの活動に使われてきました。



【山都町立菅尾小学校】

生徒数 27人
所在地 山都町菅尾1258
創立 明治8(1875)年

菅尾小学校の沿革

明治	8	元菅尾の地に菅学校 創立
	23	菅尾小学校と改称 今村分教場が設置
	32	花上分教場が設置
大正	11	菅尾尋常小学校と改称 今村分教場を廃止、現在の地に 新校舎建設
昭和	11	小学校教室及び講堂 増築
	16	菅尾国民学校と改称
	22	菅尾小学校と改称
	31	蘇陽町立菅尾小学校と改称 完全給食実施
	37	鼓笛隊編成
	38	校旗・校歌 制定
	41	創立90周年記念
	51	体育館 完成 創立100周年記念式典・記念碑 建立
	53	水泳プール完成
	59	新校舎完成
平成	元	県交通優良学校の表彰
	3	全国花いっぱい運動優良校表彰
	11	単式4、複式1の5学級に
	12	郡教育論文 入選
	13	単式2、複式2、特別支援1の 5学級に 県社協からボランティア協力校 に指定
	17	町村合併により山都町立菅尾小 学校と改称
	18	県赤十字功労表彰 受賞
	22	校長住宅 解体
成	24	閉校・蘇陽南小学校開校



⑤ 消防団音楽隊HALの演奏。
⑦ 5・6年生による発表「ALWAYS
〜菅尾の夕日136〜」数十年前、自
分たちの同窓会を舞台にした物語。長
年農作業を指導してきた甲斐光明さん
との思い出も。



- ① 参加者全員で校歌を声高らかに歌いました。
- ② 学校から感謝状を受け取った甲斐光明さん（手前）と照代さん。
- ③ 記念碑の除幕式。碑には、菅尾小学校へ多額の寄付をした加藤須磨子さん（旧姓興
柁、米山出身）の名前も刻まれています。
- ④ 旧在籍職員代表として、第25代校長水野泰典さんが菅尾小への思いを語りました。
- ⑤ 保護者と地域の代表、菅尾レンジャーが最後の闘い

午後からは、お別れの会が始まりました。立田実行委員長のあいさつのあと、旧在籍職員を代表して、第25代校長、水野泰典さんが「菅尾小では5年間在任しましたが、初めての春、校庭の桜が満開でとてもうれしかったことを覚えていいます。ここで育った子は素晴らしいに違いないと思っています。地域全体で学校を応援し、子どもたちを守っている、そんな菅尾小を忘れません。」と菅尾小での思い出を語りました。

つぎに、学校に農園を貸し出し、児童の農作業体験を指導してきた、甲斐光明さん・照代さん夫妻へ、学校から感謝状が贈呈されました。岩下校長からの感謝の言葉に、児童との思い出が蘇ったお二人の頬を涙が伝いました。

その後、菅尾小の歴史をふりかえるスライドショー、在校生による発表があり、保護者・地域の代表として、おなじみの菅尾レンジャーが、学校を守る最後の闘いを会場内で繰り広げました。

最後に、平成9年から毎年、菅尾小フェスタでその演奏を披露してきた、消防団音楽隊HALの演奏会で締めくくりました。

菅尾小学校は、136年の歴史の中で、記録に残るだけでも2620人の卒業生を送り出しました。



馬見原小学校



3校の最後を飾る、馬見原小学校の閉校記念式典が、2月26日に行われました。式には、児童51人、保護者、教職員、町関係者、地域住民の方々などおよそ250人が出席しました。

はじめに閉校式が行われました。国歌斉唱の後、学校長式辞、教育委員会告辞、町長や関係者のあいさつがありました。そして、児童代表の片倉楓さん（6年）のあいさつの後、校旗を教育長に返納し、会場全員で校歌を斉唱し、閉式しました。

閉校式の後には、お別れ会が行われました。松本新治記念式典実行委員長と中矢美記男自治振興会長のあいさつのあと、旧在籍職員を代表して、第24代校長の川上喜美生さんがあいさつしました。川上さんは「長谷小学校の閉校に伴って、馬見原小学校に赴任してきました。その夏、今も校庭に残るプラタナスが台風で折れてしまったことを今でも鮮明に覚えています。」と当時の思い出を語りました。

続いて、全校児童による構成詩「ふるさとまみはら」が披露されました。

スライドを使いながら、保護者や地域の方々、



【山都町立馬見原小学校】

生徒数 51人
所在地 山都町馬見原165
創立 明治8(1875)年

馬見原小学校の沿革

明治	8	公立学校 馬見原小学校 創立
	22	市町村制実施により、大野村側も小学校科 馬見原小の支校として管理統合
	25	大野小学校 独立
	33	尋常小学校と高等小学校を併設
	42	プラタナス3本植樹
大正	9	宮崎県鞍岡村の委託教授開始
昭和	16	二宮尊徳像 建立
	17	馬見原国民学校後援会設立
	22	馬見原町立馬見原小学校と改称、中学校併設
	23	P T A 発足
	26	新校舎建設
	27	長崎分校校舎新築
	31	蘇陽町立馬見原小学校と改称
	35	馬見原町 大火災
	42	体育館 落成
	48	プール 落成
平成	50	創立100周年記念式典
	51	100周年記念タイムカプセル設置
	元	長崎分校 閉校
	3	台風19号によりプラタナスが折れる 学校安全教育文部大臣表彰
	13	新校舎 落成
令和	17	山都町立馬見原小学校に改称
	20	熊日P T A新聞最優秀賞受賞、プール 落成
	22	普通5学級、特別支援1学級となる。 児童版画コンクールで特別賞受賞
	23	児童版画コンクール2年連続特別賞
	24	閉校・蘇陽南小学校開校



- ① 児童全員による構成詩「ふるさと まみはら」
- ② 「多くの人の声をかたむけて」OBの森下さんの講演。
- ③ 馬見原自治振興区女性の会による「馬見原追分」。
- ④ 会場には、学校の記録アルバムが展示されていました。懐かしい写真を見て、当時の思い出話にも花が咲きます。
- ⑤ 校舎とともに子どもたちを見守り続けたプラタナス。明治42年に植樹されたときは3本。平成3年の台風被害で現在の2本になりました。
- ⑥ 体育館前の石碑に閉校記念プレートが埋め込まれました。
- ⑦ お別れ会の前には、ステージ横で、卒業写真や学校行事写真のスライドショーもありました。
- ⑧ 大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の迫力の演奏。今回ステージに立ったのは全て馬見原小学校を卒業したメンバー。

そして学校への感謝の気持ちを歌や詩にして会場に語りかけました。

そして、馬見原小OBで、旭化成(株)陸上部の森下由輝さんの講演。森下さんも当時の思い出を交えながら、これからいろいろな人生の岐路に立つであろう児童にアドバイスを贈りました。

最後に、大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の演奏と、馬見原追分の唄と踊りが披露され、136年の歴史に幕を下ろす馬見原小の閉校記念式典を締めくくりました。

馬見原小学校では、児童が6年間を通して、地区の老人クラブと交流しています。米やソバなどの栽培を協力して行い、その収穫とともに喜んできました。児童にとってはとても貴重な体験だったことでしょう。そして、地域の方々と共に学校生活を送っていることを感じたはずです。

馬見原小の歴史は136年。卒業生は2000人を超えます。

閉校に寄せる想い

菅尾小学校



岩下勇治さん
校長

菅尾小学校は素晴らしい環境の中、明治8年以来136年の歴史を刻んできました。幾多の笑いと涙、感動のドラマがここで繰り広げられ、地域に愛され支えられながら、思い出という足跡を残してきました。しかし、その歩みも最後となります。児童のみなさんには、これまでお世話になった地域のみなさんのために、夢をめざし、精一杯輝く姿を見せて、蘇陽南小学校でもしっかりがんばっていきましょう。菅尾小の閉校に校長として携わることができたことを誇りに思います。



上野涼香さん
児童代表

平成24年3月、菅尾小学校の名前はなくなります。私たち27人が最後の在校生となりました。嬉しかったこと、楽しかったこと、手を取り合い喜び合ったこと、時には悔し涙を流したこともありました。でも、菅尾小学校があったから、この校風を作ってきた先輩、地域の方々、大好きな友だちがいたからそんな経験ができたと思います。136年間、毎日の学校生活を温かく見守ってくれました。そんな菅尾小が大好きです。ありがとう菅尾小学校。



菅尾レンジャー
地域代表

イガクリ戦隊菅尾レンジャー リーダーのレッドです。私たちの菅尾小学校が136年の歴史に幕を閉じると聞いて非常に残念で、菅尾の子どもたちと触れ合う機会がなくなるのかと思うと寂しく感じています。しかし、この菅尾の地で育った子どもたちならば、新しい蘇陽南小学校でもたくさんの友達を作って、仲良く楽しく元気に頑張ってくれることでしょう。その輝かしい子どもたちの姿を思い描き、これからも応援していきたいと思っています。それではまた、どこかで会いましょう！頑張れ菅尾の子どもたち！

大野小学校



野尻絹子さん
校長

この一年は、常に「大野小学校最後の」という言葉がつく特別な1年になりました。大野小学校のよさは、お互いのことをよく理解し合い、思いやりの心を感じる温かい雰囲気が常にあったことです。みんなで見守り、みんなで育んでいく、大野小校区にはそんな地域の姿がありました。伝統ある大野小学校の閉校はとても寂しいものです。児童のみなさんには大野小で学んだという誇りを持ち、大野小の良さを、菅尾・馬見原小の良さと合わせて蘇陽南小に引き継いでください。



久枝りんかさん
児童代表

(校旗返納時のあいさつ)

大野小学校の校旗のもと、私たちは勉強や運動にがんばり、友だちと将来の夢について語り合ってきました。この校旗には、大野小学校を巣立っていかれた1,552人の先輩方の思い出と、在校生16人の「夢」がこもっています。大野小学校の児童であったことの誇りを胸に、新しい蘇陽南小学校でも、志を持って、一生懸命がんばります。



佐藤孝義さん
元PTA会長

私は、終戦間もない昭和24年に入学しました、当時は15名のクラスメイトで、今の在校生と同じくらいです。4年生のとき、厳しい先生によく怒られていたのを覚えています。当時、教室の壁を取り払い、地域の方々がたくさん集まって学芸会が開かれていたのを思い出します。学芸会ではお芝居などが披露されて一日中楽しみました。心のよりどころとなっていた大野小学校がなくなるのは残念ですが、次の世代に豊かなふるさとを残せるように、新しい大野をみんなで築いていけたらと考えています。



山都町長
甲斐利幸

各地域それぞれの思い出をいっぱい詰め込んできた小学校の閉校式が無事に行われました。これまで、子どもたちのことを考えながら、地域の皆さんとともに、納得できる統合を目指してきました。今回の統合については、地域の皆さんや教職員の方々に心から感謝申し上げます。今後は、新しく開校する蘇陽南小学校で、子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるよう尽力してまいります。町民の皆さまのますますのご支援とご理解をお願い申し上げます。



山都町教育委員長
鈴木幸生

3つの小学校が136年の歴史に幕を下ろします。この間、学校は地域に根ざしながら、地域の拠り所、文化の拠点としての機能を果たしてきました。このたび、保護者や卒業生、地域の方々に、次世代を担う子どもたちの教育のことを考え、統合についての苦渋の選択をしていただいたことに心より感謝申し上げます。4月から新しく蘇陽南小学校がスタートします。子どもたちが夢と希望をもって新しい蘇陽南小学校で、多くの友だちと楽しい学校生活を送られることを期待します。

馬見原小学校



河田知治さん
校長

136年間この地域に根ざし、地域の皆さまに支えていただいた馬見原小学校。これまでに多くの卒業生を社会へ送り出してきました。その伝統は有形無形にかかわらず受け継がれてきました。老人クラブとの交流を通じて得た、ふるさとを大事に思う気持ちは、これからも必ず児童の心に残るはずです。

馬見原小学校はその歴史に幕を下ろしますが、子どもたちが地域の宝であることは変わりません。これからもやさしく見守っていただきたいと思います。プラタナスとともに新たな伝統を築いてほしい。



片倉楓さん
児童代表

版画や運動会など今年一年を振り返ってもいろんなことがありました。在校生以上に、一言では語れぬ熱い思いを持っている人も多いと思います。多くの先輩が残してくれた足跡、伝統、多くの人が大事に思い、守ってくれたからこそ、素晴らしい今があるのだと思います。地域の方々や老人クラブの皆さんには、農作業の貴重な体験と共に、たくさんのことを教えてもらいました。私たちは、馬見原小学校の思い出とともに、強いきずなで繋がっています。馬見原小学校、136年間ありがとうございました。



古川俊次さん
馬見原東部
老人クラブ

馬見原小学校には、長崎・馬見原・馬見原東部・滝上の老人クラブと農作業を通じた交流をしてもらいました。その馬見原小の名がなくなるのはやはりさみしい。地域農業の文化を子どもたちに伝え、ふるさとを大事にする心を持ってもらおうと続けてきました。成長した彼らから声をかけられるのは、この上なくうれしいことです。新しい学校でも、できるかぎり子どもたちとの交流を持ちたいと考えています。蘇陽南小学校には、今まで以上に、地域と共にある学校になってほしいです。

明治時代に、3校から始まった 地域の教育の伝統を、ひとつに

蘇陽南小学校 4月に開校

明治5年の学制頒布により、明治7年に柳井小学校が、明治8年に馬見原小学校と萱学校が開設されました。

その後、明治22年の市町村制施行や教育基本法の制定、そして昭和31年の蘇陽町誕生など幾多の変遷を経て現在の大野・菅尾・馬見原の小学校があります。

その永い時の流れの中で、地域が、子どもたちの教育に向けてきた熱意と温かいまなざしは変わることはありませんでした。各校、各地域の特色が、親から子へ、子から孫へ「伝統」として伝えられてきました。

3校の閉校は終わりではありません。4月に開校する「蘇陽南小学校」は、3校の伝統を受け継ぎ、新たに山都町の子どもを育てることになります。まさに「伝統」のスタート地点に立っています。

閉校する3校の伝統を大切に活かし、未来に向かう子どもたちとともに歩き始めましょう。

山都町立蘇陽南小学校 校歌

井手公二先生（蘇陽中学校校長）作詞・作曲

- 一 新緑（みどり）映える大阿蘇の 丘に広がる知保の郷
響く歌声未来へとどけ 明るく元気にたくましく
誇り高き夢を持ち 生きる翼広げて
蘇陽 蘇陽 南小 いのち育む
- 二 やまめ泳ぐ五ヶ瀬川 清く流れる知保の郷
熱き誇りを心に掲げ 明るく元気にたくましく
希望（のぞみ）高く学ぶため 生きる翼広げて
蘇陽 蘇陽 南小 叡智（えいち）育む
- 三 紅葉（もみじ）あざやか蘇陽峡 そよぐそよ風知保の郷
歴史新たに紡ぐ（つむぐ）学舎（まなびや） 仲良くすなおにのびのびと
絆（きずな）永遠（とわ）につなぐため 生きる翼広げて
蘇陽 蘇陽 南小 こころ育む



〈蘇陽南小学校の校章〉甲斐慶一氏監修



馬見原小学校校舎が4月から蘇陽南小学校の校舎になります。

4月2日から旅券（パスポート）の申請窓口が変わります。

県からの権限移譲により、これまで県庁や上益城地域振興局で行っていた旅券（パスポート）の申請・交付窓口が山都町役場浜町事務所へ変わります。

※県庁・振興局での手続きは原則できなくなります。

※清和総合支所、蘇陽総合支所では申請・交付ができません。



●対象者

山都町に住民登録をしている人、または居所がある人

●取扱日・時間

窓 口	旅券申請受付時間	旅券交付時間	交付までの所用日数
住民環境課 戸籍住民係 (浜町事務所)	月～金曜日 午前9時～午後4時30分	月～金曜日 午前9時～午後5時	最短で11日間

※いずれも閉庁日（土・日曜日、祝日、年末年始）を除く。

●一般旅券手数料

有効期間	申請時の年齢	収入印紙	県収入証紙	合 計
10 年	20 歳以上	14,000 円	2,000 円	16,000 円
5 年	12 歳以上	9,000 円	2,000 円	11,000 円
5 年	12 歳未満	4,000 円	2,000 円	6,000 円

※手数料は、交付時に必要となります。

●収入印紙・県収入証紙の販売場所

※収入印紙は、郵便局又は販売店、熊本県収入証紙は、山都警察署でご購入ください。

●申請方法

- ①一般旅券発給申請書 1通
- ②戸籍謄(抄)本(発行から6ヶ月以内のもの)1通
- ③住民票…1通(山都町に住民登録している人は省略できます)
- ④旅券用写真(6ヶ月以内に撮影したもの)1枚
(縦4.5cm×横3.5cm)

⑤本人確認書類(運転免許証など)

⑥前回取得した旅券がある場合は、その旅券

※旅券の紛失・焼失・損傷・記載事項訂正などの場合は、事前にお問い合わせください。

●問い合わせ先

住民環境課 戸籍住民係 (72-1172)

町長室から

甲斐利幸

今年の冬は、例年になく、寒さ厳しく、小春日和を見ることもありませんでした。北国では豪雪が続く、春が遅れそうです。昨年の東日本大震災と絡めて、天変地異を懸念します。

相変わらず日本の経済は低迷を続け、政治も混沌の闇から抜け出せずにいます。こうしたときにこそ、自己の確立が特に必要です。悲観は未来を塞ぎます。自らの価値観を今一度確認すべき時です。

少産化・非婚・晩婚による少子化が著しく、蘇陽の大野・菅尾・馬見原の3小学校が、3月末で閉校となりました。蘇陽高校に続き、学校の姿が地域から消えてしまうのは寂しく、残念でなりません。学校はその地域にあって、地域活動の拠点でもあります。賑わいの象徴施設でもあります。校庭での児童・生徒たちの歓声や躍動は、膨らむ未来を象徴するものです。

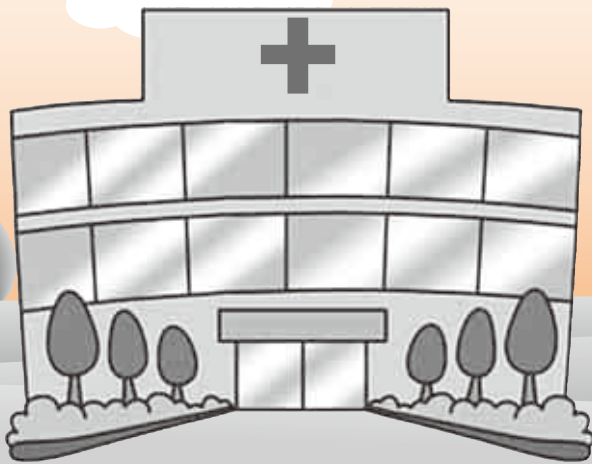
閉校式に臨み、各学校とも地域との絆の濃さを実感しまし

た。それが学校の勢いの糧となっていました。

3つの小学校は、4月から校名を「蘇陽南小学校」として新しく発足します。「シャレた町」と若山牧水が旅日記に書き留めた馬見原で、瀟洒(しょうしゃ)な姿の校舎は、必ずや新しい伝統を紡ぎ、山都町の大らかで人間性豊かな、煌めく、逞しい子どもたちを育むものと期待しています。

3月議会が終わり、平成24年度の予算が議決されました。引き続き積極的な大型予算となりました。庁舎の建築費も25年度完成を見込むものとなりました。蘇陽病院は、8月末に完成させ、11月には、歯科を統合し、人口透析設備を備えた、一層頼れる病院をスタートさせます。

子育て支援のため、中学校までの医療費を無料化します。特別養護老人ホーム2施設が開設され、J A かみましが有料老人ホームを設けます。矢部広域病院が、耐震構造でリニューアルします。さらに、県の下クターヘリ運航開始など、町内の医療福祉サービスが拡充されています。



蘇陽病院だより

～蘇陽病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します。」

特集

知って得する健康講座

第41集 口腔乾燥（ドライマウス）について

柏歯科診療所 歯科医師 甲斐 義久

今回は口腔乾燥についてお話しします。健康な成人の方の唾液は1日どのくらい分泌されるかご存知ですか？およそ1000～1500 ml と言われています。それが何らかの原因で唾液が慢性的に不足し、口腔内が常に乾燥した状態になることで、食べ物が飲み込みにくい、舌や粘膜が痛い、味がおかしいなど、様々な症状を示すのが口腔乾燥と言われる状態です。第一の原因は加齢によるもので、高齢者の唾液分泌量は、20代の成人に比べ約7分の1にも減少するとされています。

■ 口腔乾燥の原因

1. 加 齢 唾液腺等の機能低下。
2. 薬剤の副作用 体液の減少を促進させる薬剤や抗分泌作用を有する薬剤。
3. 全身性疾患 糖尿病・腎臓病・シェーグレン症候群など。
4. その他の疾患 唾液腺疾患や唾液腺感染症（おたふくかぜ等）・唾液分泌に関わる神経の損傷。
5. 口 呼 吸 唾液の分泌量が正常でも、口呼吸があれば乾燥する（室内乾燥時など）。いびきや睡眠時無呼吸症候群でも乾燥をきたす。
6. 放射線傷害 放射線照射による唾液腺の機能障害。
7. 体液の異常 発汗や脱水、高度の嘔吐や下痢、出血など。

■ 口腔乾燥に対する治療は大きく原因療法と対症療法に分けることができます。

原因療法には、1) 薬剤の副作用の除去・軽減、2) 唾液分泌改善薬の使用、3) 水分補給、4) 生活習慣や体質の改善、5) 口呼吸への対応、があります。

対症療法では、乾燥した粘膜を守る為に保湿成分を含んだ製品を使用します。具体的には、「絹水」、「オーラルウェット」、「オーラルバランス」など、様々な商品が市販されています。

最後に、口の中の乾燥度をチェック表です。3つ以上当てはまる場合はドライマウスの可能性があります。医師もしくは歯科医師にご相談ください。



口腔乾燥により萎縮した舌

■ 口腔乾燥チェック表

- ☐ 口の中が乾いてカラカラする
- ☐ 口の中がネバネバして話しにくい
- ☐ 乾いたものを飲み込みにくい
- ☐ 舌がひび割れたり、口の中が痛む
- ☐ 夜中に起きて水を飲む
- ☐ 味がよくわからない
- ☐ 口臭が気になる
- ☐ むし歯が増えた
- ☐ 入れ歯を調整しても合わない

山都町立蘇陽病院 薬剤科 奥村真利子
監修 院長 水本 誠一

現在、高血圧・糖尿病・喘息など、さまざまな種類のクスリが多く販売され、医療機関で処方されています。これからも、新しいクスリが出てくることでしょう。では、このようなクスリはどのようにして開発され、販売されてきたのでしょうか。

クスリが、みなさんのお手元に届くまでを解説します。

● クスリの開発・販売までの流れ

2～3年	・ある物質を見つけて、くすりになりそうかどうか調べる。
3～5年	・動物や培養した細胞で、くすりの効果・安全性などを調べる。
3～7年	・人で、くすりの効果・安全性を調べる。通常、3段階で進められている。
1～2年	・厚生労働省で審査を受け、製造・販売するための許可を得る。

ひとつの物質が「新薬」として認められるまでには、10～18年の開発期間と多額の費用がかかり、年々、開発費用は増加傾向にあると言われています。「新薬」の成功率はほんの一握りで、開発している研究者の努力が報われないまま消えていく場合のほうが圧倒的に多いのです。

製薬会社は、「新薬」が販売された後も、ある一定期間、安全性や有効性などの情報を集め厚生労働省や医療機関に報告する義務があります。

新しい薬を必要としている病気はまだあります。しかし、そのためのクスリを開発することは本当に難しいのです。現在、みなさんが服用しているクスリは、大変な過程を経て生まれてきたものです。

クスリは、適正に使用されてはじめて「クスリ」としての役割を果たすことができます。自己判断で、クスリの服用を止めたり、服用量を変えたりすることはしないでください。



◀コンクリート工事



(平成24年1月31日撮影)

型枠工事▶

昨年9月の起工式から約半年。今年秋の竣工に向け、着々と工事が進んでいます。

新蘇陽病院
ここまで
できました

『山都のまもり-135年』を寄贈いただきました



増田隆策さん(2月、山都警察署において)

山都警察署長だった増田隆策さん(2月末退職)が在職中にまとめられた『山都のまもり-135年』を、図書館に寄贈いただきました。『山都のまもり-135年』は警察署の沿革史(歴史の遷り変わりをまとめたもの)で、明治・大正・昭和初期の事柄がまとめられています。

先月、増田さんにまとめられた経緯など話しを伺いました。



図

書

館

だ

よ

り

声の灯り

54



「なぜ、沿革史をまとめようと思われたのですか？」

「私が100代目の署長にあたり、浜町警察署は熊本県下でもっとも古い警察署であることもあって、その歴史をまとめようと思いました。」

「まとめる際に苦労されたことはありますか？」

「商店街などを一軒一軒訪ねてお話などを伺ったのですが、すでに当時の写真や看板などの貴重な資料が多く失われていた事です。」

「心に残ったエピソードがあれば教えてください。」

「『熊本県警察史』では所在がわかっていなかった県内初の警察署、浜町警察署の所在地がわかったことです。建物が現存していると知りとても感動しました。また、地元の皆さんが家に残る古い写真や資料を提供して下さいました。」

『山都のまもり-135年』は386ページ、掲載された写真は607点にのぼり、戦前の貴重な写真なども多く掲載されています。山都町の近代史をまとめた資料は少なく、町の歴史を後世に伝えるにあたって重要な資料になります。本館・清和分館・蘇陽分館に寄贈いただきましたので、皆さんぜひご覧ください。

※貸し出し・コピーはできません。閲覧のみです。

※ご不明な点はスタッフにお尋ねください。

「本の返却にご協力ください」

※ 図書館ではより多くの方に本を届けるために、未返却の方へ本の返却のご協力をお願いしています。ハガキやお電話で確認を行っていますので、本の返却にご協力ください。

※ 転居により住所や電話番号が変更された方は、必ず図書館へ申し出てください。登録内容を変更します。連絡先の確認が取れない場合は、確認させていただきます。

※ 貸し出しバックも不足しています。マイバック持参にご協力ください。

図書館情報

—読書とは自分の心と向き合うことです—

●お問い合わせ

本館 73-1616

清和 82-3033

蘇陽 73-2755

休館日: 本館・蘇陽(月曜日・祝日・年末年始) 清和(GW・年末年始)



4月のおすすめ図書

「鍵のかかった部屋」

貴志 祐介(きし ゆうすけ) 角川書店 分類 913

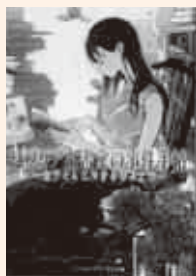


防犯コンサルタントの榎本径と、美人弁護士青砥純子。風変わりなコンビが4つの密室トリックに挑みます。「硝子のハンマー」「狐火の家」に続く、ドラマ化でも注目される、防犯探偵榎本シリーズ最新作です。

「ビブリア古書堂の事件手帖

—栞子さんと奇妙な客人たち—

三上 延(みかみ えん) アスキー・メディアワークス 分類 913



本を読むのが苦手な青年五浦大輔。亡くなった祖母の遺品である「漱石全集」を「ビブリア古書堂」に持ち込みます。そこで出逢ったのは、人見知りは激しいが古書の知識が豊富な篠川栞子。奇妙な縁から店でバイトをすることになった大輔は、古書を通して謎を解く栞子の才能と、人と本を繋ぐ不思議な出来事を垣間見ることに。

「親として大切なこと」

松下 幸之助(まつした こうのすけ) PHP 分類 379



—いろいろの人があってよかった。さまざまの人があってよかった(「道をひらく」より引用) 松下電器産業創業者であり、巨大な組織を率いてきた松下幸之助。後進の育成にも力を注ぎ、松下政経塾を開き、多くの人材を育てた松下氏が語る、「親として大切なこと」とは。

「糖尿病でも大丈夫!

しっかり甘い手づくりスイーツ」

エクスナレツジ 分類 596



食事制限はあっても、ちょっと甘い物が食べたい時がありますよね。バター・マーガリン・生クリーム不要で美味しいスイーツが作れます。ダイエット中の方も必見のお菓子レシピが紹介されています。

この本とってもおもしろいよ!

矢部小学校5年生手作りのポップを展示しています

図書館本館では、矢部小学校5年生手作りのポップを展示しています。2月24日に図書館見学を訪れた5年生は、図書館の成り立ちや「なぜ本を読むのか」などのお話を下田館長から聞きました。子どもたちは国語の授業の一環で動物の出る物語を読み、ポップを作ったそうです。また、図書館へ物語や「ポップの作り方」の本を借りに来た子どももいました。展示してあるポップは、他の人に読んでもらえるよう文章を工夫し、イラストも交えたとても素敵なものばかりです。子ども達の力作をぜひ図書館でご覧ください!



自然のなかで豊かに育つ子どもたち

その②⑦

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

「母なる大地・アフリカを訪ねて（3）」

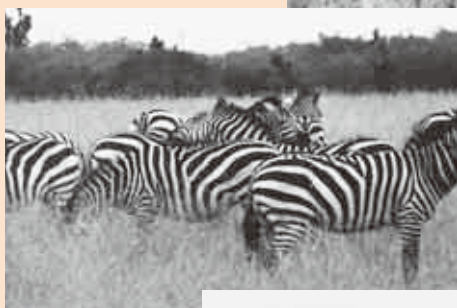
このようにしてアフリカでの自然探訪の旅が始まった。アンボセリ国立公園、マサイ・マラ動物保護区、ナクル湖国立公園、ケニア国立公園を訪れた。移動距離は3500Kmを越えた。マサイ・マラでは四泊、ナクル湖では一泊キャンプをした。アフリカの大地にテントを張り寝泊まりするのだ。夜、焚き火を囲んで、遠くにライオンなどの野生動物の声を聞きながら、時間を忘れてアフリカでの感動を語り合った。毎日が驚きの連続で話題が尽きない。

特にマサイ・マラでは獲物に忍び寄るライオンの姿が印象的だった。早朝サファリに出かけた時のこ

とだった。車でしばらく走ると、ある一点を見ているシマウマの群れがいた。ヌーたちも何か落ち着きがない。「もしかすると」と、シマウマの見つめる先を双眼鏡で見た。「ライオンだ。数頭いる。」私たちが車でライオンたちの方へ近寄り始めた時、一頭のメスライオンが私たちの車の前を横切ってシマウマの群れの後ろに回り込んだ。「狩りだ。始まるぞ。」私たちが緊張した。シマウマの群れは危険を感じたのか移動を始めた。そしてヌーの群れもそれに続いた。「どうやら狩りは失敗らしい。」私たちはさらに車を進めた。

（次号に続く）

4回に亘って「母なる大地・アフリカを訪ねて」を連載しています。平成3年にアフリカのケニアを自然探訪したときに執筆したものです。



【マサイ・マラ動物保護区】

YOU&YOU通信

Vol.58

☆2月交流会紹介☆

2月の交流会は26日（日）に、上天草市へ日帰り交流会を実施、男女合わせて10人の参加がありました。

これまでの交流会後に行った参加者へのアンケートで、「参加者同士の会話の時間がもっとほしかった。」という積極的な意見が多く寄せられていました。

そこで今回は、会場へ着いてから昼食を挟む全ての時間を、フリータイムにするという試みを行いました。すると、参加者同士の会話がいつも以上に弾み、笑い声が最後まで聞こえました。たくさん楽しそうな会話が、お互いの心の距離を、さらに縮めてくれたように感じた交流会がでした。

山都町だけでなく全国の市町村で、少子化や後継者不足の問題があり、その対策の一環として婚活事業が進められています。そんな中、「山都町のYOU&YOUに参加してよかった。」という参加女性の声は、とてもうれしく感じます。状況は厳しさを増していますが、女性の気持ちに寄り添い、何が求められているのか、男性参加者と事務局とが同じ想いで考えながら進めていく必要があると改めて感じています。

YOU&YOUでは引き続き、町内在住の男性、そして町内・町外の女性の皆さんの参加をお待ちしています。幸せへのトビラをYOU&YOUで開きましょう。

●お問い合わせ先

山都町役場 浜町事務所 総務課（成瀬・吉田）
【専用電話】
090-6565-0580

【専用アドレス】

marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp

【専用アドレス携帯】

you_and_you@docomo.ne.jp

熊本県地下水保全条例の一部が改正されました

熊本県の地域共有の貴重な資源である、地下水の水質・水量の問題発生を未然に防止するため、事業者、県民、行政が協力し、地下水を守ることが必要です。

改正点

- (1) 地下水を「公共水」として位置付けます。
- (2) 対象化学物質の使用の抑制等を努力義務とします。
- (3) 水質事故時の公表について規定します。
- (4) 対象事業場等の施設の定期点検・整備を努力義務とします。
- (5) 硝酸性窒素等汚染対策の推進を規定します。
- (6) 一定規模以上の地下水採取に対し許可制を導入します。
- (重点地域（熊本地域を想定）：揚水機本体の吐出口の断面積が 19 cm²（直径約 5cm）超、重点地域以外の地域：同 125 cm²（直径約 12.6cm）超）
- (7) 重点地域内で吐出口の断面積が 19 cm²を超える自噴井戸による地下水採取に対し届出制を導入します。
- (8) 地下水採取の届出期限を現行の地下水採取の 7 日前から 30 日前に見直します。
- (9) 許可対象者に節水・水利用合理化の取組みを求めるなど地下水の合理的な使用に関する対策を規定します。
- (10) 許可対象者に地下水採取量に応じた涵養対策を求めるなど地下水の涵養に関する対策を規定します。
- (11) 地下水採取の許可制導入等に伴い罰則を追加します。

(1)～(5)の項目は平成24年4月1日から施行されています。
(6)～(11)の項目は、平成24年10月1日からの施行が予定されています。
条例改正に伴う具体的な手続きについては、今後、説明会が開催される予定です。

問い合わせ先：

熊本県環境生活部環境局
TEL：096-333-2272（直通）
FAX：096-383-0314
HP：<http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/48/chikasuijoureikaisei.html>

平成24年度 国家公務員採用試験（院卒者・大卒程度試験）日程

●総合職試験（院卒者・大卒程度試験）

【受付期間】・インターネット 4月2日（月）～9日（月）
・郵送または持参 4月2日（月）・3日（火）

【第1次試験】4月29日（日）

●一般職試験（大卒程度試験）

【受付期間】・インターネット 4月10日（火）～19日（木）
・郵送または持参 4月10日（火）・11日（水）

【第1次試験】6月17日（日）

●皇宮護衛官●法務省専門職員●財務専門官

●食品衛生監視員●労働基準監督官●航空管制官

【受付期間】・インターネット 4月2日（月）～12日（木）
・郵送または持参 4月2日（月）・3日（火）

【第1次試験】6月10日（日）

※受験資格は試験ごとに異なります。インターネットで確認するか、お問い合わせください。

※受験申込を希望される方は、インターネットでの申込をお願いしています。

環境が整っていない方は、お問い合わせください。

問い合わせ先

人事院九州事務局 第二課試験係

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1

電話092-431-7733

FAX092-475-0565

HP「国家公務員試験採用情報ナビ」<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

国税専門官採用試験 受験者募集

1 受験資格

(1) 昭和57年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた方

(2) 平成3年4月2日以降に生まれた方で、次に掲げる方

① 大学を卒業した方及び平成25年3月までに大学を卒業する見込の方

② 人事院が①に掲げる方と同等の資格があると認める方

2 試験の程度

大学卒業程度

3 申込方法及び申込受付期間

(1) インターネットによる申込み（原則）

人事院ホームページ上の申込専用アドレス（<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>）をご利用ください。

申込受付期間は、4月2日（月）から12日（木）まで（受信有効）

(2) 郵送又は持参による申込み（※インターネットによる申込みができない場合に限り）

申込用紙は、熊本国税局及び熊本東税務署に備え付けています。

申込受付期間は、4月2日（月）から4月3日（火）までの通信日付印有効。

4 第一次試験日

6月10日（日）

5 受験申込先

全国の各国税局及び沖縄国税事務所

希望する第一次試験地により申込先が異なりますので、詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ先

①人事院九州事務局（電話092-431-7733）

②熊本国税局人事第二課試験研修係（電話096-354-6171）

③熊本東税務署（電話096-369-5566）※自動音声案内

森林の所有者届出制度が4月からスタートします

森林法改正により、今年4月以降、森林の土地の所有者となった方は市町村長への事後届出が義務付けられました。

■届出対象者

個人・法人を問わず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず届出をしなければなりません。ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出している方は対象外です。

■届出期間

土地の所有者となった日から 90 日以内に、取得した土地のある市町村の長に届出をしてください。

■届出事項

届出書には、届出者と前所有者の住所氏名、所有者となった年月日、所有権移転の原因、土地の所在場所・面積とともに、土地の用途等を記載します。添付書類として、登記事項証明書（写しも可）又は土地売買契約書など権利を取得したことが分かる書類の写し、土地の位置を示す図面が必要です。

※詳しくは所有者となった土地がある市町村役場林務担当までお問い合わせください。

問い合わせ先 役場 農林振興課 林政係（72-1136）

国保

山都町国民健康保険の加入者のみなさんへ

新しい保険証を郵送します。

新しい保険証を3月末までに各家庭に郵送でお届けします。4月1日以降に受診されるときは新しい保険証を使用してください。

新しい保険証の色は、一般被保険者は、**うぐいす色**、退職被保険者は、**桃色**です。高齢受給者（70歳以上）の方には、**高齢**の文字と**自己負担割合**が記載してあります。保険証は台紙に貼り付けてありますので、はがしてお使いください。

なお、山都町に住民登録のない学生の方が、国民健康保険法第116条（修学中の被保険者の特例）の適用を受けられるときは、**在学証明書**と**印鑑**を持参のうえ、健康福祉課で手続きをしてください。

臓器移植法の改正（平成22年7月）により、保険証の裏面に臓器提供に関する意思表示欄を設けています。記入方法は同封の「記入のしかた」をご覧ください。記入された方は、保険証に同封されている**個人情報保護シール**を貼り付けてご使用ください。なお、臓器提供の意思表示は任意ですので、必ずしも記入する必要はありません。

※保険証はなくさないように注意しましょう。他の健康保険に加入した場合など、異動があったときは、お早めに健康福祉課で手続きをしてください。

問い合わせ先	役 場	健康福祉課	国保年金係	72-1173
	清和総合支所	健康福祉課		82-2111
	蘇陽総合支所	健康福祉課		83-1111

平成24年4月1日～ 山都ふれあいバスの 時刻を変更します。



4月1日から山都ふれあいバスの運行時刻、路線を一部変更します。
ご利用の際にはご注意ください。

【変更がある路線】

 **（矢部地区）葛原線、瀬峰線、麻山線、御所線**

 **（清和地区）郷野原線、木原谷線、緑川線**

 **（蘇陽地区）柳線、野原線、大見口線、滝下線、土戸線、下山線、花上線、大野線、長崎線**

※変更の詳しい内容は、バス車内で配布する新しい時刻表をご覧ください。問い合わせ先または乗務員にお尋ねください。

※小中学生の利用に係わる変更は、学校を通じてお知らせします。



問い合わせ先：役場 企画振興課（73-0410）

第18回全国棚田(千枚田)サミットが 山都町で、10月19日・20日に開催されます

10月19日（金）～20日（土）の2日間、山都町を会場として、第18回全国棚田（千枚田）サミットが開催されます。テーマは「子どもたちへ残そう地域の宝～地域が育み続ける棚田の文化と景観～」です。

山都町内では、「菅棚田」と「峰棚田」が平成11年度農林水産大臣選定の「日本棚田百選」に選定され、さらに、平成22年2月22日に「白糸台地」全体が国の「重要文化的景観」に選定されました。

今回の全国棚田（千枚田）サミットは、耕作放棄地や有害獣の被害等が増加するなか、棚田の保全と活用の手法や地域の活性化を探るために開かれ、重要文化的景観地域の選定を機に、棚田の持つ多面的機能を継承し、全国に発信することを目的に、下記の日程で開催します。

サミットでは、全国から延べ1,000人を見込む参加者に、菅棚田・峰棚田、山都町の景観をご覧いただき、意見交換を通じて未来に向けた棚田保全を考えます。

第18回全国棚田(千枚田)サミット

「子どもたちへ残そう地域の宝～地域が育み続ける棚田の文化と景観～」

1日目 10月19日（金）

時 間	内 容	会 場
10:00～	開会式	中央体育館
10:50～	基調講演	
12:00～	〈昼食・休憩〉	
13:30～	事例発表（2団体予定）	
14:30～	分科会（4分科会） ①地域が守る棚田の保全と活用 ②棚田が育み続ける自然と機能 ③棚田が持つ歴史の継続性 ④棚田・地域からの発信 ・首長会議	国民宿舎「通潤山荘」 矢部保健福祉センター「千寿苑」 山都町図書館ホール 矢部中学校体育館 中央公民館
18:00～	全体交流会、一部地域交流会	中央体育館

2日目 10月20日（土）

時 間	内 容	会 場
9:00～	棚田現地見学会 重要文化的景観選定地見学	菅棚田、峰棚田 白糸台地棚田
11:30～	〈昼食・移動〉	※現地で昼食
12:30～	分科会まとめ	矢部保健福祉センター「千寿苑」
13:00～13:30	閉会式	

現在、実行委員会をつくり、菅地区、島木地区、白糸地区や観光協会、商工会など各種団体に協力をお願いして準備を進めています。

棚田の写真 募集します！



全国棚田サミットの開催に合わせて、ポスターや会場での展示に使用する山都町内の棚田の写真を募集しています。

季節によっていろんな表情をみせる、山都町の棚田を記録した写真をご提供ください。サイズは問いません。また、いつの時代のもので構いません。また、写真以外でも棚田に関連する資料なども探しています。

詳しくは、役場農林振興課（72-1136）までお問い合わせください。

わたしたちの人権

85

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできない
当然の権利これが「人権」です

社会教育の役割

え、社会教育の重要さがさらに増してきています。

「社会教育」とは、日本独自の用語です。さまざまな考え方はありますが、一般には「主として青少年と成人に対して行われる学校外の組織的教育活動」と定義されています。この社会教育における「同和」教育活動としては、部落の人々自らの解放のための学校外の組織活動と、全ての国民が自らの人権意識を高めて「差別のない社会」を実現する基礎となる教育活動の両側面があります。「同和」地区の人々の学習活動としては、識字学級、青年学級、女性学級、成人学級のほか、子ども会活動などがあります。

私たちの必要課題である人権意識の高揚をめざす学習機会としては「啓発活動」があります。自発的学習を動機づけ、それを支援するための資料配付、研修会・講演会の開催、映像媒体の提供などで、2000（平成12）年には「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が制定され、教育と啓発がいちだんと重視される時代を迎

現在、県及び市町村では生涯学習が推進されています。ユネスコが提唱する生涯学習は、基本的人権の保障と切り離すことのできないものとしてすすめられており、何人からも奪うことのできない基本的人権の最も重要なもののひとつである「教育を受ける権利」を生涯にわたって保障する施策として位置づけています。また、生涯教育を通して人々の人権意識を高め、それによって世界の平和と人権を守ろうという願いが込められています。

住民一人ひとりの学習権が保障されるように、特に被差別の側におかれている住民の願いや要求を反映した主体的学習の保障をめざす社会教育の実践と強化と充実が大切です。

熊本での社会教育活動

熊本県人権教育研究協議会では、社会教育部会が中心になり、1999（平成11）年から2000

7（平成19）年まで、県内各地で実践されている「人権の街づくり」の手法や経験を豊かに交流し、県下すべての地域における「人権文化」の創造をめざす目的で、人権の街くまもとフェスタを開催してきました。そこでは、人権バンドのコンサートや人権・部落問題に関する展示やビデオ上映などを行いながら、参加者の輪を広げ、ともに人権・部落問題について考え、行動しましょうと呼びかけてきました。その結果、現在この取り組みが各地域に広がり、地域独自の運動が展開されています。

山都町での社会教育

すべての人々の人権が尊重される社会の実現をめざし、企業や組織、団体などあらゆる社会の場において人権教育・啓発を推進する必要があります。とりわけ、部落差別は社会悪であり、許すことのできない差別であることを町民とともに認識を深めます。

「人権を考える町民の集い」や教育委員会が主催するさまざまな生涯学習活動の中で人権学習など、町民のみなさんにわかりやすい研修の場を提供したいと考えています。

みなさんの積極的なご参加をお待ちしています。

識字学級

部落差別をなくす取り組みとして大事にされてきた財産のなかに、「識字学級」の取り組みがあります。

同和対策審議会答申が出される以前は、部落の多くが行政施策の枠外に置かれ、差別と生活苦にあえぐ部落の人たちの多くは、子どもの頃から生活の糧を求めて働かざるを得ない現実がありました。

くらしを高めていく解放運動が進められるなかで、「就職のために免許が取りたい」「調理師の資格を得たい」「離れて暮らす孫に手紙を書きたい」と生活欲求が高まり、そのために文字を奪い返すための「識字学級」が始められました。

初めて握る鉛筆は力一杯握りしめ、手が震えて思うように動かない、そんなはじまりの識字学級でしたが、ていねいに教える指導者のかかわりと、

文字を奪い返すのだという強い意志で、少しずつ文字を獲得し、免許や資格を勝ちとつていかれたのでした。

学んだのは、部落の人たちだけではありませんでした。文字は知らなくとも工夫して仕事を探し、きつい労働で家族のくらしを支えてきた部落の人たちのたくましい生き方や、助け合って生きる深い優しさに出会い、講師として文字を教えていたはずの側こそ、自分の生き方を見つめ直させられていたのです。

文字を学んできた自分たちが、文字を知らないことや学歴で人を判断したり、言葉ではどんな仕事も大切だと語りながら、部落の人たちの仕事を軽く見てきた自分を問い直させられたのです。識字学級は、このように学び合うというぬくもりあふれる貴重な学びの場となっています。

4月の当番医

4月1日 瀬戸病院 (電話75-0111)
 4月8日 蘇陽病院 (電話83-1122)
 4月15日 高田整形外科 (電話72-1007)
 4月22日 坂本クリニック (電話72-0210)
 4月29日 伴病院 (電話72-0029)

山都町の人口

〔平成24年2月29日現在〕

男 8,554人(-18)
 女 9,142人(-14)
 計 17,696人(-32)
 世帯 6,753戸(+5)

※()は前月比

※最高齢は106歳〔女性1人〕

※1月1日～2月29日の出生届数
 14人(うち2月は3人)

※1月1日～2月29日の死亡届数
 54人(うち2月は26人)

季節のうた

▼通潤句会

一輪の梅のたよりは隣りより
 お手玉をひねもす縫いて良寛忌

菊池 成河
 田中 かつみ

▼清和短歌会

それだけの過去を背中に滲ませて湯浴みは長し
 老ひし人らの
 おいこらと呼びつ呼ばれつ辿りきた生きる長みち
 妻も白髪
 カットせし髪を鏡に写し見る老い妻の顔少しはなやぐ

山本 フサ
 平川 竜
 米田 定

▼馬見原酔山会

降る雪のたたずむ鷺を包みを取り
 冬深し母看て猫と戸締りも
 年甲斐に生甲斐そへて老の春
 やまなみの会

岩永 周子
 工藤 美智子
 高田 眞司

この村に生きるも定め犬ふぐり

赤星 たづえ

打揃ひ年酒汲み合ふ村人ら

岩村 ヨシ子

城跡に眺むわが町四温晴

天崎 信恵

とりどりに色付けしままの枯落葉拾いあげては

木下 スエオ

押絵にしし蕎麦も準備して温かくして

本田 健二郎

灯油ヨシ年越し蕎麦も準備して温かくして

飯星 セチ子

新年迎かう

今を

短歌の道師の導きのありたれば老いても

飯星 セチ子

短歌につなげり

飯星 セチ子

林野火災・野焼き火災にご注意を！

春は、空気が乾燥し強い風が吹く日が多いため、林野火災・野焼き火災が起こりやすくなります。火の取扱いに気をつけましょう。

野焼きによる火災を防ぐためのポイント

●乾燥注意報や強風注意報発令中は延焼速度が速くなるので、極力野焼きは行わない。

やむを得ず実施する場合は次のことに注意してください。

- 事前に消防署に連絡してください。
- 決して一人では行わないでください。
- 高齢者のみでの実施は危険ですので行わないでください。
- 着火しにくい服装で実施してください。

●消火用具を事前に準備してください。

山都町消防団ではジェットシューターの貸し出しを行っています。お近くの消防団員にご相談ください。



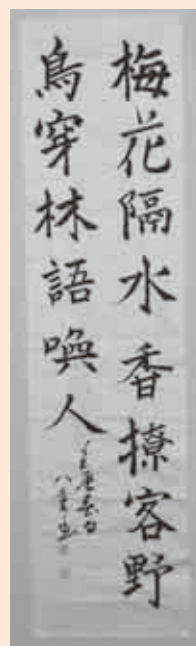
ジェットシューター

お問い合わせ先

山都消防署 (72-0119)

役場 総務課 (72-1111)

書道



和光教室書道部の佐野八重子さん (川口) 作

訂正とお詫び

広報やまと2月号 (2月22日発行) において、記事に誤りがありました。関係者のみなさまには大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正します。

○23ページ 「ご寄付いただきました」

(誤) お見舞い返し → (正) 一般寄付

まちの話題

宝くじ助成事業でDVD

町では、「通潤橋のできるまで」という3Dビデオを制作しました。コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業を利用し、農村文化の重要性と必要性を伝え、活力ある地域づくりをめざすために制作されました。この事業は、宝くじ普及広報事業費を財源として、財団法人自治総合センターが行っています。このビデオは、通潤橋資料館での放映のほか、各地域づくり活動への貸し出しも行います。



1時間の国際交流

3月1日、清和中学校で、韓国と『インターネット中継』が行われ、2年生21人が1時間の国際交流を行いました。

相手は、2月まで熊本市国際交流会館でインターンとして働いていた韓国の大学生3人。事前に、韓国について学習した生徒は、インターネットを利用した1時間の生中継を、英語・韓国語・日本語を駆使して会話を楽しみました。さらに、文楽や清和トマト、天文台についても紹介し、「いつか清和へ遊びに来てください」とアピール。参加した生徒は「違う国の言葉を知れば、新しい世界を見ることができ」と感想を話しました。



ネットで国際交流中

ひなまつりもちつき大会

浜B地区「ひな祭りふれあい餅つき大会」が2月26日、矢部小学校で行われました。この餅つき大会は、浜B自治振興区の世代間交流を図る目的で毎年開催されています。この日もお年寄りから子どもまで100人以上が参加、石うすときねをつかって行い、おいしい餅ができました。つきあがった餅は、持ち帰られ、各家庭でその味を堪能しました。



おいしいもちができました。

ペットボトルキャップ引き渡し

清和小学校の児童が、自分たちで集めたペットボトルのキャップを、山都町商工会青年部に渡しました。この取り組みは「エコキャップ運動」。ペットボトルのキャップをリサイクルメーカーで再利用、その売却代金が「エコキャップ推進協会」を通じ、NPO法人「世界の子どもにワクチン」を日本委員会」に送られ、世界の子どもたちにワクチンが届きます。キャップ4kgで一人分のポリオワクチンになり、商工会青年部では、熊本県商工会青年部の一員としてこの事業に取り組んでいます。清和小学校で集めたキャップは48kg。児童会役員6人が後藤春樹部長へ手渡しました。



後藤部長（右）にキャップを渡す清和小の6年生

鹿本農高が先進地視察で山都町へ

3月5日、山鹿市にある鹿本農業高校の食品工業科1年生36人がなかはた農園（白小野）を訪れました。これは、同校の1年生を対象とした先進地視察の一環で、この視察を2・3年生での学習に繋がります。生徒はまず、旧下矢部東部小学校で、同農園の中島由博さんからイチゴの栽培や加工、農業経営に関する講話を受けました。その後の実地研修はイチゴの収穫体験です。なかはた農園はこの日、今シーズンのイチゴ狩りオープンの日で、生徒らは時間いっぱいみずみずしいイチゴを口いっぱい頬張っていました。



収穫というより食べるほうが多かったようです。

学校保健委員会研修会

学校保健委員会の研修会が2月10日に矢部保健センター千寿苑で行われました。講演会では、「子どもに語るいのち」と題し、鹿児島国際大学短期大学部教授の種村エイ子氏が、全国の学校で行っている「いのちの授業」について話しました。図書館の司書の経験を活かし、本を読み聞かせながら、子どもたちに命について押し続ける種村さん。自らのがんの闘病経験を交えた言葉は、参加者の心に深く刻まれました。この後、学校保健委員会養護部会の取り組み報告も行われました。



種村エイ子さん

清和つ子ふるさと祭り

2月26日、清和小学校で「清和つ子ふるさと祭り」が開催され、児童が地域の方々や保護者と一日ふれあいました。

午前中は、公民館支館が主催するふれあい活動。児童85人が低・中・高学年に分かれ、すもう大会・グラウンドゴルフ・突き鉄砲づくりに挑戦。運動場に児童と地域のみなさんの笑い声が広がりました。午後は児童の発表会。体育館のステージでは、学年ごとに今年学んできたことを発表しました。5年生の発表は、アイガモ農法で取り組んだこだわりの米作りについて劇を披露しました。



5年生の劇のようす

上益城援農ボランティア

小雪の舞う2月19日、下名連石にボランティアが集まり、農作業を手伝いました。これは、上益城地域振興局農業普及振興課が行う「かみましき援農ボランティア」。過疎地で、田畑を守る人々の農作業を助ける（援農）し、里山を支えようとするもので、今回で4回目、山都町では柚木地区について2回目です。今回は熊本市などから16人が参加、シイタケ駒打ち、荒れた竹林の伐採、栗園の除草など5時間にもわたり、精力的に援農作業に取り組みました。



厳しい寒さの中、シイタケ駒打ちを黙々と作業

愛林駅伝

第57回愛林駅伝競走大会が2月18日に開催されました。矢部、清和、蘇陽の3中学校と町外4中学校から17チームが参加、千寿苑をスタート・ゴールとする、周回コースで健脚を競いました。レースは序盤から甲佐中Aがリードする展開。一時矢部中に首位を譲りましたが、すぐにその座を奪い返し、その後は安定した走り続け、トップでゴールしました。町勢では矢部中Sが3位に入りました。矢部中・清和中・蘇陽中からは複数のチームが参加し、大会を盛り上げました。



雪が舞う中のスタート

小学生が清和文楽鑑賞

農村文化として受け継がれてきた「清和文楽」を、町の宝として子どもたちに触れてもらおうと、町内全小学校の6年生と清和小学校全児童を対象にした鑑賞会が、3月7日、清和文楽館で開かれました。この鑑賞会で、清和小6年生が1学期から練習を重ねてきた「傾城阿波の鳴門」を披露。素晴らしい太夫の語りと三味線に合わせて、巧みに人形を操り、物語の情感を表現しました。この後、全員で保存会の方々による「日高川入相花王」を鑑賞。最後に芝生広場で実際に人形に触れ、地域の宝をその手に感じていました。



見事に清和文楽を披露した清和小6年のみなさん



①



⑦



③



②

- ①第7分団の通常点検 ②713人の団員が勢揃い
- ③選手宣誓は第7分団本田裕一団員
- ④操法競技で優勝した第9分団の操法
- ⑤操法競技準優勝の第5分団
- ⑥操法競技第3位の第4分団
- ⑦団員に訓辞する山口高則団長



⑤



⑥



④

山都町消防団出初め式が3月4日、山都町営グラウンドで開催され、713人の団員が参加、あふれる消防魂を披露しました。

式では、甲斐町長の式辞、山口高則団長の訓辞に続き、通常点検や操法競技が行われました。

操法競技では、1ヶ月以上の特訓を重ねた各分団の精鋭が、動きの正確さと放水のタイムを競い、荒木達也さんが指揮する第9分団が圧倒的なスピードと機敏な動きで優勝を果たしました。

通常点検では、藤川康喜分団長指揮の下、素晴らしい規律を見せた第7分団が優勝しました。

出初め式には、蘇陽中の少年消防クラブと下矢部保育園、明光保育園、御岳保育園の幼年消防クラブも参加。4つの消防クラブは大人顔負けの通常点検を見せ、幼年消防クラブの「火遊びはしません!」という宣誓が会場に響きました。

また、この日、熊本県知事表彰などの各種表彰が行われ、永年消防団活動に尽力した優秀な団員に表彰状が贈られました。

さらに今年度、耐震性貯水槽（地下式防火水槽40t）2基の設置に伴い、用地の無償提供をいただいた方々に感謝状が贈られました。

【用地を無償提供いただいた方々】

- ・歌野隆一さん（北中島）
- ・興柁菊司さん（上差尾）

競技の結果

	総合	通常点検の部	操法競技の部
第1位	第9分団	第7分団	第9分団
第2位	第10分団	第2分団	第5分団
第3位	第3分団	第10分団	第4分団

↓蘇陽中学校少年消防クラブ



↑大人顔負けの通常点検
(下矢部保育園幼年消防クラブ)



すくすく育て

乳 幼 児 健 診

平成24年2月17日=千寿苑 平成24年2月24日=清和保健センター

1歳児
健診

7ヶ月
健診

4ヶ月
健診

※保護者のご承諾をいただいた赤ちゃんを、
撮影・掲載しています。

蘇陽高等学校閉校式



刻まれる記憶

一人ひとりの心に

生き続ける蘇陽高

県立高校の統合再編に伴い閉校する、県立蘇陽高等学校の閉校式が3月4日に行われました。蘇陽高校は、昭和26年、馬見原町（当時）の方々の熱い思いにより、県立矢部農林高等学校馬見原分校として設置され、昭和49年県立蘇陽高等学校として独立、発展を遂げました。

式は、最後の3年生となった19人の和太鼓の演奏ではじまりました。続いて、3年生が編集した蘇陽高校の映像がスクリーンに映し出され、出席者に当時の懐かしい思いが蘇りました。

赤城陽一校長の式辞、県教育委員会のあいさつなどのあと、同校同窓会会長で閉校式実行委員会の委員長を務めた片倉長久さんが「我々が母校蘇陽高、永遠に万歳！」と万感の思いを込めてあいさつしました。

最後に、生徒代表岡田梨沙さんが「蘇陽高卒業生として誇りを持ち新しい一歩を踏み出します」と力強く宣誓。校旗を返納し、最後の校歌を参加者全員で声高らかに歌いました。

- ① 参加者全員で最後の校歌斉唱
- ② 生徒代表による校旗の返納
- ③ 3年生が迫力の和太鼓演奏を披露



生徒代表
岡田 梨沙さん

独立当初 265
人の生徒も今では
19 人。最後と生

徒として今日までがんばってきました。閉校にあたり、校歌の歴史を知りました。聞きやすく親しみやすい校歌が伴奏テープとともに今も受け継がれていることを嬉しく思いました。蘇陽高がなくなることは悲しみ寂しきで胸がいっぱいになりますが、この校舎で過ごした日々は決して色あせることなく、いつまでも私たちの心に残り続けます。卒業生という誇りを持って新しい一歩を踏み出すことを誓います。



閉校式実行委員会
（同窓会会長）
片倉 長久さん

閉校式にたくさ
んの参加をいた
きありがとうございます

ます。学校の設立は、知保郷の農業振興につながる人材育成が目的だと思います。設立時の関係者の苦労は計り知れません。今回その 61 年の歩みを終えることになりました。時代の流れとはいえ、残念でしかたありません。蘇陽高校に対し、今まで携わっていただいた全ての皆さまのご尽力に心からお礼申し上げます。我々が母校蘇陽高、永遠に万歳！



学校長
赤城 陽一さん

本校は、先人の
絶え間ない努力に
より、輝かしい歴

史と伝統を築いてきました。三綱領「自立」「創造」「礼節」のもと、地域に信頼され、地域に根ざした教育活動に取り組み、「キラリと光り輝く生徒・学校」を目指し、文武両道にがんばりました。卒業生は 2932 人を数え、各方面で活躍されています。その歴史に終止符を打つのは断腸の思いです。これまで本校生徒を温かく見守ってくれた地域の方々に心から感謝申し上げます。

蘇陽高等学校の沿革



昭和26年	県立矢部農林高等学校馬見原分校（昼間定時制・農業課程）として開校
昭和35年	全日制移行 創立10周年記念式典
昭和45年	農業科から普通科に切替
昭和49年	県立蘇陽高等学校として独立
昭和52年	蘇陽町滝上の現校舎に移転
平成 4年	ボランティア協力校として厚生大臣表彰
平成22年	全九州学校図書館コンクール最優秀賞
平成24年	閉校

蘇陽高 最後の卒業式

閉校式2日前の3月1日、蘇陽高史上、最後の卒業生19人が、その伝統を胸に母校を巣立っていきました。赤城校長が「蘇陽高校の最終ランナーとして立派に走りぬいた、素晴らしい生徒でした」と絶賛、卒業生19人の強い絆を感じる卒業式でした。



- ① この仲間だから大きな壁も乗り越えられたと互いが信頼する、蘇陽高最後の卒業生のみなさん。(写真は閉校記念式典時)
- ② 卒業証書授与では、赤城校長から卒業生一人ひとりに激励の言葉が掛けられました。
- ③ 式の最後、育ててくれた保護者のみなさんに一礼。

矢部高校閉校式

3月1日、同じく県立高校の統合再編に伴い、閉校する矢部高等学校の閉校式が行われ、旧矢部高校をこの日卒業した最後の3年生と、蘇陽高校と統合してできた新設矢部高校の1・2年生、保護者など約230人が出席しました。国歌斉唱のあと、学校長の式辞や生徒代表や来賓のあいさつが行われました。その後、出席者全員で校歌を斉唱したあと、校旗が返納されました。

116年の伝統を持つ矢部高校は閉校されましたが、蘇陽高校と統合再編されてできた新設矢部高校が2年前に開校して、その伝統は受け継がれています。





2年連続の3位入賞。上益城郡チーム

堂々の3位 第38回 郡市対抗 熊日駅伝大会

天草市役所前をスタート、熊本市のびぶれす熊日会館前をゴールとする14区間、105.3kmで争われる郡市対抗熊日駅伝大会。2月12日に行われたこの大会で、上益城郡チームは天草市・球磨郡について、3位でゴール。記録は天草市から約2分遅れの5時間30分14秒でした。

町からは、区間賞を獲得した栗屋育太郎選手・山村隼選手など7人が出場し、いずれも上益城郡チームの3位入賞に大きく貢献する走りを見せました。

町からの出場者（敬称略）

4区／藤河健（長崎大）、6区／栗屋育太郎（区間賞・陸上自衛隊）、7区／山村隼（区間賞・九州学院）、8区／渡邊大樹（開新高）、9区／藤本和秀（五ヶ瀬ワイナリー）、12区／橋本登志郎（陸上自衛隊）、14区／藤河貴也（矢部高）

山都町 写真コンテスト

山都町と全日本写真連盟熊本県本部並びに朝日新聞社が主催した山都町コンテスト。県内外の64人の写真家から208点の作品応募がありました。これらを全日本写真連盟西部本部委員の洲上忠臣氏らが審査、最優秀賞には、通潤橋放水の瞬間の橋の上の風景を写した、高鷹春一さん（福岡市）の作品「晩秋の頃」が選ばれました。

2月18日に通潤山荘で表彰式が行われ、最優秀賞に輝いた高鷹さんのほか、優秀賞2点、特選2点、入選20点の入賞者が表彰されました。

コンクールの入賞作品は、7月に観光案内所ルポんで展示されるほか、4月15日から崇城大学ギャラリーでの展示も予定されています。



最優秀賞「晩秋の頃」高鷹春一さん

平成23年度交通安全標語 コンクール入選作品



山都地区交通安全協会が募集した、交通安全の標語コンクールの入選作品を毎月2作品ずつご紹介していきます。（学校名・学年は当時）

ゆずりあい	やさしいきもち	じこぼうし	（中島小6年 原住春汰）
あさねぼう	あせるきもちが	じこのもと	（潤徳小1年 柴田嘉徳）